

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

逆境に挑む強い精神が必要だ 伊東 信一郎 (ANAホールディングス会長)

- ANAには、「ジャガイモ」みたいな人材がたくさんいる。ゴツゴツして見かけは悪いが、泥臭い。格好よく言えば「野武士集団」。周囲から、そんなふうに言われた時代がありました。しかし、そうした風土が弱くなっているのではと心配です。社外の人から「最近ジャガイモじゃなくて、何かツルツルとした頭のいい人ばかりに見える」と指摘されるようなことがあると、なおさらです。
- ANAは常に逆境に挑んできた会社です。その精神は、これまでずっと引き継がれてきました。社長になったのはリーマンショック後の 2009 年。日本航空が破綻していく様子を身ながら、実は私たちも紙一重でした。幸いにも乗り切れたのは、ホテルを売却して得たキャッシュと、全社一丸となった逆境に挑む社風があったからです。
- 当時コスト削減など、従業員にお願いすることが本当に多かった。銀行からは破綻懸念先にするぞと脅かされているような状態でしたから、緊迫感がありました。追い付こうとしていた日本航空が、まさか破綻するとは思っていませんでした。役員会議室には「現状窮乏、将来有望」と書かれた戒めの額が掛かっていますが、その言葉を常に意識していました。私たちは自分の足だけで立ち続けよう、航空事業は今も窮乏でも、絶対に将来はあるんだと。常に戦闘モードでチャレンジの炎を燃やし続ける精神を伝えていくことが私の役目だと思っています。

(参考:「日経ビジネス」2017年1月30日号)

経営者のための理念・哲学

徳は事業の基

- 「徳は事業の基。未だ基固まらずして棟宇の堅久は非ざるなり」。徳はあらゆる事業の本である。土台がしっかりしていない建物がもろく長持ちしないように、徳なくして事業の繁栄はあり得ない、ということである。初学徳に入る門一徳を身につけるためにまず最初に読むべき本といわれる「大学」に、次の一文がある。「富は屋を潤し、徳は身を潤す」。富があると自ずとその家屋に潤いが出てくるように、人間にも徳が備わっていると、その人柄に潤いが出てくる、というのである。
- 「天爵を修めて人爵之に従う」と孟子はいう。天爵は天が定める位、人爵は人が定める位である。天爵を修めていけば、それに相応しい人爵が与えられる。天爵を修めていなければ、人爵を与えられても、その地位を失ってしまう、ということである。

(参考:「致知」:2017年4月号)

経営者のための危機管理

地方銀行の脅威 (コンビニのATM戦略)

- 今やすっかり浸透したコンビニのATM。コンビニの増殖とともに台数は増え続け、コンビニ 3 強の店内に置かれたATMの数はメガバンクのATM台数の合計の倍近い規模にまで膨れ上がった。旧態依然とした銀行業界に新風を吹き込んだ小売業発の金融サービスは、一大勢力へと成長している。
- ファミリーマートとローソンがATMの強化に乗り出した。ファミリーマートはゆうちょ銀行のATMを増やし、ローソンは銀行を設立する。大手コンビニの攻勢は地方銀行の脅威となっている。全国 5 万店という圧倒的な拠点の力を持つコンビニ 3 強のATM戦略は、銀行業界の行く末を揺るがす大きなうねりになる可能性をはらんでいる。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2017年1月28日号)

古典に学ぶ

精神修養の一つ「チャノユ」

(解説) ほんの単純なことでも一つの芸術に仕立てられて、精神修養となった一例として、「チャノユ」をあげてよかろう。茶をすることが芸術だなんて、どうしてそれでいけないだろうか。砂に絵をかく子供たちの中に、または岩に刻む未開人の中に、ラファエロやミケランジェロのような人になる見込みがあったのである。ましてや、ヒンドゥー教の隠者の超越的瞑想で始まった茶を飲む習慣が、宗教と道徳の侍女にまで発展する資格は、十分あるのではないか。

(参考:佐藤全弘(訳)新渡戸稲造「武士道」:教文館)